

基本方針③ 社会全体で健康を支え守るための社会環境の整備

1 市民の主体的な健康づくりを支える地域づくり

健康づくりは、市民一人一人が自覚を持ち、実践することが基本ですが、市民の主体的な健康づくりには、個人の意思や家族の支援だけでなく、地域をはじめとする個人を取り巻く社会環境が大きな影響を及ぼします。中でも、地域は日常生活と密接に関わっており、地域で活動する様々な団体は市民の健康づくりを進めるうえで重要な役割を担っています。また、市民が地域活動に参加し、その活動を通じて地域との絆を深めることは、心身の健康の維持・増進や生活の質の向上につながります。このため、市民の主体的な健康づくりを支える地域づくりを推進することが重要です。

主な取組

- 地域活動の活発化のための取組や、「すこやか食生活推進リーダー」「食生活改善推進員」「健康ウォーキング推進者」「アクティブシニア健康増進リーダー」等、地域で健康づくりを支援する人材の育成と活動を支援します。

主な目標項目	現状	目標
地域のつながりの強化（自分と地域の人たちとのつながりが強い方だと思う者の割合の増加）	24.3%	65%
すこやか食生活推進リーダーの活動実績の増加	225回	450回
健康ウォーキング推進者の活動実績の増加	183回	370回

2 健康づくりに関する団体・機関等との連携の強化

市民の健康を支え守るための社会環境として、飲食業や小売業の事業者、医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、栄養士会、健康運動指導士会など、健康づくりに関する企業・団体・機関等も重要な役割を担います。健康づくりの意識啓発や健康に関する情報提供、安全で健康に配慮した食品や食事の提供、受動喫煙防止など、市民の健康づくりに関する企業・団体・機関等が連携し、市民の健康を支え守る取組を推進することが重要です。

主な取組

- 「元氣じゃけんひろしま21協賛店・団体」の認証店数の拡大や、家庭や職場、飲食店等における受動喫煙防止対策などに取り組みます。

主な目標項目		現状	目標
元氣じゃけんひろしま21協賛店・団体の認証数の増加	全体	1,009店舗	2,500店舗
	禁煙協賛	239店舗	500店舗
	食生活協賛	322店舗	700店舗
	ウォーキング実践協賛	84店舗	150店舗
	健康づくり協賛	364店舗	650店舗
	がん検診推進協賛（仮称）	—	500店舗
日常生活における受動喫煙の機会の減少	行政機関	4.8%	0%
	医療機関	5.7%	0%
	飲食店	48.4%	16.5%
	職場	26.4%	0%
	家庭	17.1%	6%

3 生活環境の保全など様々な分野との連携

都市に暮らす人々の健康には、きれいな水や大気、緑豊かな都市環境の整備、安全・安心な食物の確保等、様々な都市の要件が複雑に絡み合っている影響しています。

世界保健機関（WHO）では、市民の身体的・精神的な健康水準を高めるために、人々が互いに助け合い、これらの様々な都市の要件を整え、さらに発展させていく都市のことを「健康都市」とし、その実現を推進しています。

本市においても、この「健康都市」の概念を踏まえ、市民一人一人が、生涯を通じて心身ともに健康で自立した生活を送ることができるよう、健康増進に直接関わる分野だけでなく、生活環境の保全、緑豊かな都市環境づくり、農林水産業の振興など、市民の健康を取り巻く様々な分野との連携も重要です。

主な取組

- 市民の健康を取り巻く様々な分野と連携し、それぞれの関連計画等に基づき総合的に施策を展開します。

